

一般質問

鈴木 更司 議員



質問通告事項

321 市道の管理、規制について
 青少年育成における白ボストの設置について
 廃止された千代田神立ラインに代わる
 公共交通について



映像は
こちらから
ご覧ください



▲西成井バイパス入口交差点

Q 西成井バイパスのセンターラインや歩道など、規制の見直し
 予定について伺います。

A 市民部長 西成井バイパスにおけるスピード超過や危険な追越しにつきましては、深刻に受け止めております。当該区間は、センターラインが破線で追越し可能な構造となっております。センターラインの実線化や速度制限など、道路課及び警察と連携し、現地調査の上、規制導入の要望を検討してまいります。また、中学生の自転車や農作業用車両の横断については、横断歩道や注意喚起看板、路面標示の設置など、現地の状況を踏まえ検討してまいります。今後も地域の安心・安全を第一に、関係機関と連携し、交通安全対策の充実に努めてまいります。

Q 千代田神立ラインの代替とすることができる、既存の公共交通の活用に関する周知について伺います。

A 都市建設部長 持続可能な公共交通として継続するため、最も利用頻度が高い神立駅東口から土浦協同病院までに絞って運行することが、市民の皆様の地域医療拠点への移動手段を確保する上で最も効果的であると判断いたしました。この変更は本年7月より実施しております。廃止された市内循環ルートの代替手段としましては、デマンド型乗合タクシーとタクシー利用助成事業の2つの制度をご用意しております。これらの制度を積極的に活用していただくことで、市民の皆様の移動を支援してまいります。今回のルート変更や代替手段につきましては、市のホームページや広報誌での周知に加え、市の公共交通をまとめたご利用ガイドの改訂版を7月上旬に全世帯へ配布し、周知徹底に努めております。

Q 市道の管理や規制について伺う

A 関係機関と連携して規制導入を検討してまいります

久松 公生 議員



質問通告事項

21 本市の道路行政について
 本市の自転車によるまちづくりについて



映像は
こちらから
ご覧ください

Q 本市の自転車マナー（乗り方）をもっと充実させるために、どのように考えているのか、そして「車道混在」による道路や環境整備等は、どのように対策していくのかお伺いします。

A 市民部長 市といたしましては、警察署や交通関係団体等と連携し、「まちづくり出前講座」に交通安全教室等を組み込むほか、街頭キャンペーンや立哨活動などの啓発活動、パトロール車による広報等を実施し、交通ルールや自転車の安全利用についての啓発に努めております。また、広報誌や市ホームページ等の媒体を活用し、周知徹底を図ってまいります。

A 総務企画部長 道路構造や幅員等の制約により、自転車道や自転車専用通行帯の設置が難しい区間においては、車道混在による整備として、車道内に矢羽根型路面表示や自転車ピクトグラムを設置し、自転車の通行位置を明示することで、自動車運転者に注意喚起を図ります。また、ヘルメット購入助成につきまして、ヘルメット未着用者の重傷・死亡率の実態からも、早期に実施できるように検討してまいります。

Q 本市の「通学路・スクールゾーン」「生活道路」「幹線道路」の維持管理・整備等についてお伺いします。

A 都市建設部長 通学路の安全確保は、未来を担う子どもたちの命を守る重要な責務です。通学路の維持管理・整備を着実に進め、子どもたちが安全・安心に通学できる環境づくりに全力で取り組んでまいります。道路の維持管理では、限られた予算と人員の中でいかに効果的な管理を行うかが大きな課題です。引き続き道路の長寿命化や民間事業者のさらなる活用など、最小の経費で最大限の効果をえられる方法を積極的に検討してまいります。今後も市民の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、より効率的かつ計画的な道路維持管理に努めてまいります。

Q 自転車の運転マナーと対策について伺う

A 啓発活動を充実させ、交通安全意識の向上と事故防止に努めてまいります



一般質問

塚本 直樹 議員



Q 東消防署の移転、開設までのスケジュールについて伺う

A 令和9年度末に引っ越し、新庁舎での業務開始を計画しております

Q 東消防署移転に伴う現在の進捗状況及び開設までのスケジュールを伺います。また、移転先の旧霞ヶ浦保健センター跡地周辺の道路拡張、新設の考えはあるのかお伺いします。

A 消防長 令和8、9年度の2か年で工事を行い、令和9年度末には引っ越し、新庁舎での業務開始を計画しております。

A 市長 移転先ですが、小学校付近ということもありまして、児童の安全については特段の配慮が必要だと認識しております。歩道の整備や緊急車両が幹線道路までスムーズに出動できるような道路整備など、具体的に検討していきたいと考えております。

Q 国で小学校の給食費が無償化となった場合、本市で中学校の給食費を無償化にする考えはあるのかお伺いします。

A 市長 国のほうで小学校の無償化が進みましたら、昨年度から実施しております第2子以降の無償化に充てている財源を振り替え、中学校の給食費においても無償化を図り、小中義務教育学校全ての無償化に取り組んでまいりたいと考えています。なお、給食にまつわる支援に関しましては、無償化等の財政的な保護者に対する支援と、それとは別に子どもの健全育成に直接関わる質の向上ということでオーガニック給食に取り組んでおります。これからもこれらの施策を実施し、安全、安心で美味しい学校給食の充実に努めてまいりたいと考えております。

質問通告事項

1 東消防署建て替え移転に伴う周辺のインフラ整備等について
2 学校給食への地場産物活用並びに給食費無償化について



櫻井 健一 議員



Q 神立病院の移転断念となった旧つくばハウス跡地の今後の土地動向について伺う

A 地域のにぎわいを生み出すエリアに見直しております

Q かつての筑波ハウスの広場は、地域の子どもたちが集い、空手の稽古や野球・サッカー・バドミントンなどに興じる憩いの場でした。次の用途が決定するまでの間、一定の整備を施し、市民の方が利用できるように開放していただきたいと考えますが、いかがでしょうかお考えを伺います。

A 総務企画部長 若者や子育て世代の定住に向け、民間の活力を生かした都市機能の充実と、地域のにぎわいを生み出すエリアに見直しておりますが、今後の利用が決定するまでには一定の時間が必要と考えております。一方、短期での利活用を模索していくことは大変重要だと考えます。一定期間内という制限はありますが、民間の需要などの把握につままして、その手法を探っていききたいと考えております。

Q 多くの機能が備わった複合交流拠点施設の整備を中心市街地に望んで多くの市民の方にも多く利用されること、中心市街地の施設の在り方を協議できる委員会を設けることを提案しました。

A 市長 多くの方が行きやすい場所に設置したほうがいいという考えは今も持っております。その一方で、複合交流拠点を一つどこかに建てればそれで済むという話ではなく、中心市街地の老朽化を迎える公共施設の在り方、あるいは財政的にどこまでできるのかを総合的に検討いただく委員会として立ち上げました。市民の皆様の求める機能をしっかりと確保して、財政的にも安価にできる方策は何か、その両方を相談の上、決定していきたいと考えております。

質問通告事項

1 旧筑波ハウスの跡地利用について
「中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会」について



1 神立病院移転に関する市の対応と今後の土地利用について

質問通告事項



映像はこちらからご覧ください

A 市長 商業、医療、宿泊機能など民間企業の誘致推進のため、第一種中高層住居地域から第二種事業地域に用途を変更しております。このことで立地可能な施設の規模が拡大しますので、都市機能の充実と地域のにぎわい創出を図ってまいりたいと考えております。また、神立病院は断念となりましたが、民間誘致ゾーンが広がりましたので、民間事業者の利活用を選択肢が増えると考えております。多くの市民の皆様から、時間がかかったけれどもよかったと言っていただけのような利活用を目指して頑張つてまいります。



▲旧つくばハウス跡地

矢口 龍人 議員



Q 神立病院移転計画が中止に至った経緯等について、市長の見解を伺う

A 大変残念ですが、やむを得ない社会情勢の変化と考える以外にないと思っております

Q 神立病院移転計画に係る事業費が想定を大幅に上回る見込みとなったことから、事業計画の実現が困難となったため、基本協定の解除に合意したことについて、損害賠償を検討すべきではないか、また、計画変更を議会や市民に伝えなかったのは説明不足ではないか、市長の見解を伺います。

A 市長 抗し難い社会情勢の変化が原因ですので、それに対して損害賠償請求等を求める内容ではないと考えております。神立病院には、これまでも市民の健康維持に多大な貢献をしていただいております。今後も同様に、地域の医療・福祉を支えるパートナーとして連携をしていきたいと考えておりますので、そういう関係性も十分に考慮して対応しました。また、病院側から途中経過の情報提供は受けておりましたが、決定事項として市側が受け取った内容はないまま今回の断念に至っており、決まっていなかった内容を逐一皆様にお伝えすることは、交渉相手方との信頼醸成の上でもできないという事情によりまして、発表はしておりません。最終的に決定した段階で議会にご報告するという考えでおります。

Q 今後、当該土地について、市としてどのような方針の下、土地利用を進めていく考えなのか、具体的な施策の方向性を伺います。

佐藤 文雄 議員



Q やまゆり館の後方の土地を活用して図書館を建設する話が出ていることについて伺う

A 結果についてはまだ把握しておりませんのでお答えできません

Q 宮嶋市長は複合交流施設の見直しを掲げ、市街地中央に市民に愛される図書館、文化交流センターの整備を進めると公約をしましたが、やまゆり館の後方の土地を活用して図書館を建設するという話が出ているようですが、このことについて伺います。

A 市長 「中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会」に諮問をして、これまで3回ほど開催していただいたということですが、結果についてはまだ把握しておりませんので、お答えできません。

Q 小中義務教育学校の給食費の無償化及び教材費の保護者負担解消について、進捗状況を伺います。

A 教育部長 学校給食の無償化につきましては、市単独で無償化するには安定的な財源確保が難しい状況です。教材費については、個人負担により購入していたカスタネットや彫刻刀、ハサミ、1人1台端末用のタッチペンなどを市費で購入し、学校へ配付するといった取組を行って、保護者負担の軽減に努めているところです。

質問通告事項



映像はこちらからご覧ください

4321 複合交流施設の見直しについて
子育てしやすいかすがうら市について
入札制度の改革について
水道事業の広域化について



議員 健夫 設楽



Q 東消防署移転における消防車通行時の音響について伺う

A 子どもたちや施設利用者の安心・安全向上の
ほうがメリットが多いと判断しております

Q 旧霞ヶ浦保健センター跡地への東消防署移転における教育文教スポーツ施設への影響と交通安全について、大型の消防自動車の出動、帰庫、通行経路に関わる交通安全調査を行ったか、これから行うのか伺います。

A 消防長 出動経路は霞ヶ浦南小学校体育館側市道が基点です。道路状況を日頃から独自で調査しております。改めて行う予定はありません。東消防署移設に伴う道路やサイレンの影響は多少はあるかもしれませんが、それよりも学校及び周辺のスポーツ施設やコミュニティ施設にとつて万が一の事故や救急搬送の場合に早急に対応することが可能となり、子どもたちや施設利用者の安心感や安全性が一層高まることのほうがメリットが多いと判断しております。

Q 旧霞ヶ浦保健センターからの消防車通行時の定点音響発生試験では、プール棟前の上限値は78デシベルです。この音響調査が定点調査であり、校舎通過時の音響調査でなかったことに対して具体的に検討されているのか伺います。

A 教育部長 基準値を超える時間があつたとしても車両通過は一時的なものであり、学校生活において大きな影響を及ぼすものではないと考えております。

Q 土地改良区の用水路、排水路の移動・廃止の課題と対策について伺います。

A 産業経済部長 土地改良区内の市道併設用排水路につきまして、用排水路の底地の所有権は市へ移管されており、所管部署は道路課です。用排水路の所有管理は土地改良区です。用排水路は、併設の農道の排水機能も有していることもあり、移動・廃止は市への手続が必要となるほか、土地改良区の許諾も必要です。

Q 8月5日報告の神立病院移転に関する基本協定書解除までの協議・行政対応と今後の対策について伺います。

A 総務企画部長 基本協定書の記載事項中、大幅な変更が具体化したとは認識しておりません。令和5年12月に一部要望が出されておりますが、検討の可能性と判断し、特段基本協定書の変更とは解釈しておりません。

質問通告事項

- 1 霞ヶ浦南小学校南側の旧保健センター跡地への東消防署移転における教育文教スポーツ施設への影響と交通安全について
- 2 水田稲作・畑地の農地拡大時の課題、農道・土地改良区水路変更の所管及び手順と市道認定について
- 3 神立病院基本協定解除までの協議・行政対応と今後の対策について



議員 正広 石澤



Q 登下校時の熱中症対策について伺う

A 登下校時の熱中症対策は大事であり、本市の状況にあった対応に努めてまいります

Q 登下校時の熱中症対策について、土浦市では保冷箱に氷を入れてネッククーラーを冷やす取組をしており、感謝の声が上がっているとお話を伺いました。ぜひ、かすみがうら市もこうした取組をしていただければ、大変危険な暑さから子どもたちを守るができると思います。ご提案しますが、いかがでしょうか伺います。

A 教育部長 児童生徒の安心・安全な登下校の確保の1つとして熱中症対策も大事なものと認識しておりますので、ご提案いただいたような対策を含め、本市の状況に合った対応につきまして、今後検討させていただきたいと思っております。

Q 住宅街の側溝の管理について伺います。側溝の清掃は、地域の安全や水はけの改善にとつても重要です。自治会で定期的な掃除ができればよいのですが、高齢化により清掃ができない現状があると思います。市としての基本的な考え方を伺います。

A 都市建設部長 側溝の管理については、市道の維持管理と同様に職員や委託先の事業者による清掃を実施しています。特に土砂の堆積が確認された箇所、地元住民の皆様から清掃の要望があつた箇所、過去に冠水のあつた実績のある箇所などを優先的に清掃を行っております。

質問通告事項

- 1 インフラの環境整備の現状と課題について
- 2 住宅街の側溝の管理について
- 3 道路施設表示の管理について
- 4 防災マップで土砂災害地域指定されている雪入と上佐谷の砂防ダム管理について
- 5 登下校時の熱中症対策について
- 6 市民窓口センターへの給茶機設置について



321

市の進めている地域おこし協力隊について
ふるさと納税について
自主防災組織について

質問通告事項



映像は
こちらから
ご覧ください

服部 栄一 議員



Q 地域おこし協力隊1期生は、令和8年3月に任期切れとなりますが、今後の進路について伺います。また、地域に根を下ろし、オーガニック栽培の拡大、果樹栽培に向け奮闘する隊員もいますが、より経営を盤石にするため水稻栽培を取り入れたらと考えます。市の見解を伺います。

A 産業経済部長 本市の協力隊事業は、令和5年度に初めて4名の隊員を迎えて実施しております。市内定住や関係人口として地域に定着いただけるよう、希望や適性なども考慮した上で、今後の進路や事業計画の相談を実施しております。また、農業分野で活動している2名の隊員のうち1名が本市のオーガニック推進協議会に加わり、有機栽培に取り組んでいます。退任後の進路につきましましては、隊員本人の意思を尊重することにはなりますが、農業の職を志す隊員をサポートするうえで、水稻栽培は有効な選択肢の一つと認識していますので、当該隊員に対しては、関係部署において丁寧に説明させていただきます。

Q ふるさと納税の返礼品として、特に人気の米を確保する方策について伺います。

A 産業経済部長 現在、ふるさと納税の市場における主要な返礼品として、米が注目されています。本市としても、返礼品である米の確保は重要課題であり、返礼品調達事業者として、(株)かすみがうらFCを通じて在庫確保を図るだけでなく、ふるさと納税へ意欲的な生産者にむけ、返礼品取扱事業者への登録を促すなど、事業者登録の促進に尽力しております。特に在庫不足による寄付の受付停止に陥ることのないように、複数の米卸事業者と連携し、昨年度の消費需要や寄付実績から必要な在庫量を予測するとともに、更なる供給ルートを確保してまいります。



Q 地域おこし協力隊1期生の今後の進路について伺う

A すべての隊員に市内定住や地域に定着いただけるよう相談を実施しております

「市議会へのご意見」ページを設置しております（市議会ホームページ）



かすみがうら市議会では、開かれた議会の実現のため、市民の皆様からのご意見をお聞きしております。

皆様からいただいたご意見は、皆様からの貴重な声として、今後の議会運営の参考にさせていただきます。



▲市議会へのご意見ページ
QRコード